

なぜか、ほかの3台とは離れて駐車していたブルーのトリビュート。この横には広島ナンバーの比較テスト用CR-Vが停めてあった。



ニッポンは
"テストカー天国"だ



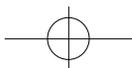
黒とグレーのツートン車は、ワイドタイヤやオーバーフェンダーなどを装着した最上級グレードらしい。ブルーやシルバーのクルマとはアルミホイールのデザインが違うのも確認でき



Photo.EDITORIAL NETWORK

すっぴんトリビュート軍団 「道の駅」に出現!

スクープ短信 触媒変更と同時に、Will Viの一部ボディカラー廃止か？
パールローズM、イエローグリーンM、ブルーMがラインナップから消えるとの情報あり。



SCOOP 19

シ トシトと小雨の降る、平日の午後2時半。そんな静けさを打ち破るかのように、ヤツらはきた。

マツダ・トリビュート。年内10月に発表予定の新型SUVが、たいした擬装も施さず、こともあろうに4台も連なつて現れたのだ。

ここは山口県の長門峡 国道9号線沿いにある、「道の駅・長門峡」のパーキングエリアだ。仲間といっしょに、たまたまクルマを停めていた山口県内在住の読者が、こんな衝撃的なシーンに出会った。

「マークやエンブレムは黒いテープで隠していました。でも、ひと目でトリビュートだとわかりました」

テストカー、しかも一般道を使った路上テストといえ、1台か2台でひっそりと走っていることが多い。が、トリビュートは4台まとまって走ってきた。いや、正確には6台だ。比較テストなのか、RAV4



果敢にもインテリア撮影にチャレンジ！「シートの色は白っぽくて、まるで高級車のような作りだった」とのこと。さすがにインテリアをのぞくとこらまれたそうだ。



道路からも見えるスペースに、堂々と並べられたテストカーたち。あまりにも自然で、かえって気づかないかもしれない。そのとなりに比較テスト用のRAV4の姿も見える。

4色のボディカラーを雨に濡らし RAV4、CR-Vを従えて...

とCR-Vを引き連れていたのだ。4台は、ていねいにも、すべて色違い。「まるでカタログでも見ているような気分」だったそうだ。

テストチームは総勢15人ほど。道の駅には休憩のために立ち寄り、トイレに行ったり、缶コーヒを飲んだりしながら、この後の予定を確認しているようだったという。

そんな中、この読者は4台の外観ばかりでなく、インテリアの撮影にもアタック。そして、スクープ班に写真を送ってくれたのだ。

それにしても、このシーンには驚くばかり。LAショーで公開済みとはいえ、市場に出ていない未発表モデルを、ここまで堂々と走らせるとは……。「やたらと隠さない方が目立たなくていいかもしれない」とい

う新しい作戦だろうか？

しかし、そのおかげでグレード・バリエーションを3タイプ確認することができた。

下の写真、いちばん手前の「黒ツートン」が最上級モデルだ。オーバードアフェンダーやクラッディングパネルを装着したワイドパッケージだ。

真ん中の「シルバー」は中間グレードで、黒ツートン車とはアルミホイールも異なる。オーバードアフェンダーなどは付かない。

そして、奥の「レッド」はベーシックグレードだ。一見、ツートンかと思っただけ、バンパーは無塗装。ホイールも鉄製になる。

これだけそろえられると、テストカーであることも忘れて、グレード選びをはじめてしまいたいそうだ……。



レッドのクルマはツートン塗装かと思ったら、無塗装バンパー装着車だった。プライバシーガラスは省かれ、ホイールも鉄チンのベーシックグレードだ。

